

日本衛生検査所協会全国学術研究発表会利益相反(COI)に関する指針

1. 適応範囲

日衛協全国学術研究発表会で発表する筆頭発表者や共同研究者の、利益相反(COI)指針の遵守を求める。

2. 医学研究の特性と COI

- 1) 医療機関に所属する研究者は、被験者との関係を有しており、人権擁護、個人情報、研究結果の情報の安全性の確保が求められる。
- 2) 医学研究は、データに対する信頼性の確保が求められる。
- 3) 研究成果の発表は、発表結果が医療に応用する上で影響が大きく、発表者は関連企業との COI 状態に関する情報を自己開示することにより適切に提供することを求める。

3. 対象者すべてが回避すること

本会学術研究発表会では医学研究の結果とその解釈を発表や公表する際は、純粋に科学的根拠と判断に基づいて行い、その内容が、資金提供者・企業の恣意的な意図に影響されてはいけない。

4. 筆頭発表者は該当する利益相反状態について、発表スライドの最初(演題・発表者などを紹介するスライド)に(様式1)により開示するものとする。

様式1
学術研究発表時、申告すべきCOI状態がない場合

<p>日本衛生検査所協会学術研究発表会 COI (利益相反)開示 筆頭発表者名： ○○ ○○</p>
<p>利益相反の有無： 無 ※演題発表に関連し、開示すべき COI関係にある企業等はありません。</p>

 日本衛生検査所協会
Japan Registered Clinical Laboratories Association